

# 宮崎県議会 令和4年6月定例会 一般質問時間割

※ 網掛は教育委員会への質問なし

## ■ 6月15日(水)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
1	日本共産党	前屋敷 恵美	10:00～11:00	
2	自由民主党	坂口 博美	11:00～12:00	休憩
3	県民の声	井上 紀代子	13:00～14:00	

## ■ 6月17日(金)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
8	自由民主党	山下 寿	10:00～11:00	
9	自由民主党	濱 砂 守	11:00～12:00	休憩
10	公明党	坂本 康郎	13:00～14:00	

## ■ 6月16日(木)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
4	自由民主党	山下 博三	10:00～11:00	
5	郷中の会	有岡 浩一	11:00～12:00	休憩
6	自由民主党	日高 博之	13:00～14:00	
7	県民連合宮崎	田口 雄二	14:00～15:00	

## ■ 6月20日(月)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
11	公明党	河野 哲也	10:00～11:00	
12	自由民主党	武田 浩一	11:00～12:00	休憩
13	自由民主党	佐藤 雅洋	13:00～14:00	

## ■ 6月21日(火)

### 一般質問

順序	会派	質問者	時間	備考
14	県民連合宮崎	山内 佳菜子	10:00～11:00	
15	県民連合宮崎	太田 清海	11:00～12:00	休憩
16	自由民主党	安田 厚生	13:00～14:00	

宮崎県議会 令和4年度定例会における本会議答弁件数

	6月		9月		11月		2月		計	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
教育政策課	7	3	6		3		4		20	
財務福利課	0	2	3		1		2		6	
高校教育課	10	9	16		13		16		55	
義務教育課	9	5	13		8		8		38	
特別支援教育課	2	2	1		1		3		7	
教職員課	5	4	8		2		15		30	
生涯学習課	3	2	0		1		0		4	
スポーツ振興課	6	6	12		7		7		32	
競技力向上推進室		4								
文化財課	0	2	1		2		0		3	
人権同和教育課	7	8	13		13		12		45	
計	42 (実答弁数)	42 (実答弁数)	69 (実答弁数)		43 (実答弁数)		59 (実答弁数)		213 (実答弁数)	

※ 計に(実答弁数)と記載してある議会は、1つの答弁を複数の課で担当したものがあつたため、各課室の合計と計(実答弁数)が一致しない。

■ 令和4年6月定例会 質問の概要 ■

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
1	国民スポーツ大会	坂口 博美	自由民主党	富田浜浚渫において除去されるヘドロの量及び処分方法について伺いたい。	競技力向上推進室
2	AED	井上 紀代子	県民の声	学校におけるAEDの設置状況と使用事例、教職員の研修の状況について伺いたい。	スポーツ振興課 財務福利課 人権同和教育課
3	スマホ利用	井上 紀代子	県民の声	児童生徒のスマートフォンの使用実態とそれを踏まえての教育長の見解を伺いたい。	人権同和教育課
4	金融教育	井上 紀代子	県民の声	投資について、学校の指導の現状と、今後どのように教えていくのか伺いたい。	高校教育課
5	競技力向上	有岡 浩一	郷中の会	競技団体ごとの強化計画の状況について伺いたい。	競技力向上推進室
6	競技力向上	有岡 浩一	郷中の会	ふるさと選手にどのような支援を行っているのか伺いたい。	競技力向上推進室
7	施設	有岡 浩一	郷中の会	県総合運動公園プールの今後の取扱いについて伺いたい。	スポーツ振興課
8	ウクライナ支援	日高 博之	自由民主党	ウクライナ避難民における児童生徒の教育機会の確保について伺いたい。	義務教育課
9	教科担任制 ／全員担任制	田口 雄二	県民連合宮崎	小学校における教科担任制の現状について伺いたい。	義務教育課
10	課外指導	田口 雄二	県民連合宮崎	県立高校における朝課外について、教育委員会の対応状況を伺いたい。	高校教育課
11	課外指導	田口 雄二	県民連合宮崎	現在の朝課外の実施状況について伺いたい。	高校教育課
12	課外指導	田口 雄二	県民連合宮崎	朝課外を廃止した学校数とその理由について伺いたい。	高校教育課
13	課外指導	田口 雄二	県民連合宮崎	朝課外に対する評価について伺いたい。	高校教育課
14	読書・図書	田口 雄二	県民連合宮崎	知事は、「日本一の読書県」を提唱されているが、知事の現在の思いを伺いたい。	生涯学習課
15	読書・図書	田口 雄二	県民連合宮崎	県立図書館の現状と、「読書県みやざき」の取組について伺いたい。	生涯学習課
16	新型コロナウイルス感染症対策	山下 寿	自由民主党	学校教育現場におけるマスク着用に係る対応について伺いたい。	教育政策課
17	学校施設・整備	山下 寿	自由民主党	県内の公立学校における耐震化の状況を伺いたい。	財務福利課
18	西都原古墳群	濱砂 守	自由民主党	西都原古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組について伺いたい。	文化財課
19	ヤングケアラー	河野 哲也	公明党	ヤングケアラーに対して、実態把握をした後、学校現場ではどのように対応していくのか伺いたい。	人権同和教育課
20	教科担任制 ／全員担任制	河野 哲也	公明党	小学校における教科担任制の現状と成果について伺いたい。	義務教育課
21	STEAM教育	河野 哲也	公明党	文部科学省の推奨するSTEAM教育について、県の見解を伺いたい。	高校教育課
22	学力	河野 哲也	公明党	本県の義務教育段階における学力向上の取組について伺いたい。	義務教育課
23	部活動	佐藤 雅洋	自由民主党	コロナ禍における県立学校の部活動の取扱いについて伺いたい。	スポーツ振興課
24	新聞	佐藤 雅洋	自由民主党	県立高等学校等における今年度の新聞の配備状況及び活用状況について伺いたい。	高校教育課
25	いじめ／自殺	山内 佳菜子	県民連合宮崎	いじめアンケートはどのような方法で実施されているのか伺いたい。	人権同和教育課
26	いじめ／自殺	山内 佳菜子	県民連合宮崎	いじめが起きた後の対応について、県はどのような取組を行っているのか伺いたい。	人権同和教育課
27	いじめ／自殺	山内 佳菜子	県民連合宮崎	いじめの認知の割合が全国でもトップクラスであることや今後のいじめ問題への取組について知事の見解を伺いたい。	人権同和教育課
28	不登校	山内 佳菜子	県民連合宮崎	小中学校における不登校の増加について教育長の見解を伺いたい。	人権同和教育課
29	不登校	山内 佳菜子	県民連合宮崎	多様な学びの場の確保に向けた民間団体との連携について、進捗状況と今後の対応を伺いたい。	人権同和教育課
30	オンライン学習	山内 佳菜子	県民連合宮崎	様々な事情により、学校に行きたくても行けない児童生徒の学びを止めないため、オンラインにより行う授業の現状と今後の対応について伺いたい。	高校教育課 義務教育課
31	特別支援	山内 佳菜子	県民連合宮崎	発達障がいのある児童生徒の保護者の声を教育委員会の施策に生かす仕組みがあるか伺いたい。	特別支援教育課
32	特別支援	山内 佳菜子	県民連合宮崎	県立高校における特別な教育的ニーズのある生徒に対する受検の配慮と入学後の支援の状況について伺いたい。	高校教育課 特別支援教育課
33	部活動	太田 清海	県民連合宮崎	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要や今後のスケジュールについて伺いたい。	スポーツ振興課

NO	キーワード	質問者	会派	問 い の 概 要	担当課室
34	部活動	太田 清海	県民連合宮崎	部活動は教育の一環として教員が担うべきではないかと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	スポーツ振興課
35	部活動	太田 清海	県民連合宮崎	部活動指導員の配置による効果と今後の見通しについて伺いたい。	スポーツ振興課
36	教員免許更新	太田 清海	県民連合宮崎	教員免許更新制の廃止に伴う新たな研修制度の概要について伺いたい。	教職員課
37	教員免許更新	太田 清海	県民連合宮崎	県教育委員会として、新たな研修制度を今後どのように構築していくのか伺いたい。	教職員課
38	神楽	安田 厚生	自由民主党	神楽の保存・継承のために、県が行っている取組と今後の方策について伺いたい。	文化財課
39	働き方改革	安田 厚生	自由民主党	教員の時間外業務時間について、どのくらい改善が図られたのか伺いたい。	教職員課
40	GIGAスクール構想	安田 厚生	自由民主党	GIGAスクール構想の現状と課題について伺いたい。	教育政策課
41	GIGAスクール構想	安田 厚生	自由民主党	1人1台端末を活用して子どもたちが悩みを相談できる仕組みをつくることは出来ないか伺いたい。	教育政策課
42	教員確保	安田 厚生	自由民主党	県外からの教員確保の取組状況について伺いたい。	教職員課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 数	答 弁	担 当 課
1	国民スポーツ大会	富田浜浚渫において除去されるヘドロの量及び処分方法について伺いたい。	坂口博美	自由民主党	R4	6	富田浜の浚渫につきましては、令和9年に本県で開催されます国民スポーツ大会のポート競技会場の整備として実施するものであります。 現在の計画エリアを浚渫するに際し、行いました測量調査及び底質調査の結果によりますと、土砂量は、約1.1万立方メートルが見込まれ、土質につきましては、粘土質が60%以上の粒子の細かい土砂であることが確認されております。これらのことから、浚渫や処分方法につきましては、土砂量の削減や砂質系の土砂への転換が図られるよう浚渫エリアの見直しも含めまして、環境への影響にも配慮した適切な方法を今後、検討してまいります。	競技力向上推進室
2	AED	学校におけるAEDの設置状況と使用事例、教職員の研修の状況について伺いたい。	井上紀代子	県民の声	R4	6	AEDの設置状況につきましては、県立学校には平均で33台、市町村立学校には1台以上が設置されております。 各学校では、AEDの使用法を含む心肺蘇生法等の職員研修を計画的に実施しており、県立高等学校では毎年、消防署等の専門機関の協力を得て、授業や部活動など具体的な場面を想定した実践的な研修を行っております。また、教職員だけでなく、生徒を対象とした研修につきましてもほとんどの学校で実施しております。 そうした研修の成果もあり、適切な使用により、児童・生徒の一命を取り留めたという事例もございまして、今後も県立学校や市町村教育委員会と危機管理意識を共有し、子どもたちの安全を守る取組を推進してまいります。	スポーツ振興課 財務福祉課 人権同和教育課
3	スマホ利用	児童生徒のスマートフォンの使用実態とそれを踏まえての教育長の見解を伺いたい。	井上紀代子	県民の声	R4	6	例年、本県で行っておりますスマートフォン等の使用状況に関する調査によりますと、令和3年度の一日の使用時間が、2時間以上と回答した児童生徒の割合は小学校23.5%、中学校45.9%、高等学校52.2%となっております。 さらに、その割合を令和2年度と比較しますと小学校で3.7ポイント、中学校で7.2ポイント、高等学校で4.8ポイントと、全校種ともに増加しております。 また、その使用内容につきましては、すべての校種で動画視聴、SNS、ゲームが多くを占めている状況にあります。 これらの使用内容は、今後ますます長時間の使用になりがちなことから、生活リズムの乱れや健康被害につながるかねない懸念もしております。	人権同和教育課
4	金融教育	投資について、学校の指導の現状と、今後どのように教えていくのか伺いたい。	井上紀代子	県民の声	R4	6	投資をはじめとする金融に関する教育につきましては、成年年齢が引き下げられたこともあり、ますます重要性が高まっていくと認識しております。 県内、小中学校では児童生徒の発達段階に際しまして、家計の大切さや金銭管理について学んでおり、高等学校では金融の仕組みの学習や、家計の形成の視点も含めた学習を実施しております。また、金融広報アドバイザー等の外部講師を活用した授業や職員向けの研修にも取り組んでおります。 今後は、さらに、小・中・高が連携し、自立して生きていくために必要なのは何かを議論しながら、社会のできごとを自分のこととして捉え行動できる子どもの育成を図ってまいります。	高校教育課
5	競技力向上	競技団体ごとの強化計画の状況について伺いたい。	有岡浩一	郷中の会	R4	6	天皇杯獲得に向けましては、県競技力向上基本計画を策定し、様々な対策を実施しているところであります。 この基本計画を踏まえ、それぞれの競技における強化計画立案について競技団体と十分な情報交換を行い、各競技団体におきましては、大会における得点などの成果目標を設定した計画を作成されております。 現在、その強化計画により、今年度の栃木県体に向けた練習会や5年後の宮崎県スポに向けたターゲットエイジの育成などの取組が進められております。 県といたしましては、練習会の観察やヒアリングを重ね、全ての競技団体に寄り添いながら、計画の進捗状況の把握や戦力分析を進め、目標達成に向けて取り組んでまいります。	競技力向上推進室

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問	議員名	所属	年	期	答 弁	担当課
6	競技力向上	ふるさと選手にどのような支援を行っているのか伺いたい。	有岡浩一	郷中の会	R4	6	天皇杯を獲得するためには、これまで以上に、優秀なふるさと選手を招へいし県内の選手との切磋琢磨を通して、県全体の競技力を押し上げることが重要であると考えております。 そこで、本年度から新たに「ふるさと選手活動支援事業」をスタートさせ、競技団体が直接企業や大学に向かい本県代表として国体への出場を依頼する際の旅費や、ふるさと選手が本県の強化事業により参加しやすいようその際の活動費を支援してまいります。 今後も、新たなふるさと選手の獲得と計画的な招へいを行えるよう、競技団体や選手の所属先と連携を図り、ふるさと選手への継続的な支援を推進し更なる競技力向上を進めてまいります。	競技力向上推進室
7	施設	県総合運動公園プールの今後の取扱いについて伺いたい。	有岡浩一	郷中の会	R4	6	県総合運動公園のプールにつきましては、競技団体が主催する大会や夏休み期間中の一般開放等で利用されているところであり、現在、宮崎市錦本町におきまして、新プールの整備が進められており、完成後には県総合運動公園で開催されている大会等は基本的に新プールで行われるものと考えております。 そのため、現在のプールの今後の取扱いにつきましては、競技団体や関係機関の御意見等を向うとともに、今後の維持管理費用なども考慮する必要があると考えております。	スポーツ振興課
8	ウクライナ支援	ウクライナ避難民における原簿生徒の教育機会の確保について伺いたい。	日高博之	自由民主党	R4	6	ウクライナから避難してこられた子ども達につきましては、言葉の壁、心や体の健康、これらに配慮することはもとより、何より未来をつくる子ども達の学びを止めないことを考えております。 そのため、文部科学省の通知を周知し、避難した子ども達の教育の機会が確実に確保されるよう、市町村教育委員会や関係各課と情報共有と連携を図っております。 県教育委員会といたしましても、今後とも、避難した子ども達が、安心して学校生活を送ることができるよう、日本語指導支援員を配置するなど、御家族、子どもたちに寄り添う、積極的な支援を行ってまいります。	義務教育課
9	教科担任制／全員担任制	小学校における教科担任制の現状について伺いたい。	田口雄二	県民連合宮崎	R4	6	現在、国は、教科担任制の導入に当たりまして、中学校との接続の観点から、外国語、理科、算数及び体育の教科を優先する方針を示しております。 本県におきましても、国の方針を踏まえながら令和2年度から導入し、今年度132校の小学校で、教科担任制を実施しております。その成果としましては「教師の専門性を生かした指導」や「学級担任の空き時間の確保」などが挙げられ指導の充実や働き方改革につながると考えております。課題としては「時間割が複雑化すること」や「学級担任と教科担任がどのように評価を共有するか」などが挙げられております。 県教育委員会といたしましては、子どもたちの学びが一層深まるよう、引き続き小中学校における教科担任制の導入を推進してまいります。	義務教育課
10	課外指導	県立高校における朝課外について、教育委員会の知所状況を伺いたい。	田口雄二	県民連合宮崎	R4	6	朝課外につきましては、保護者からの要請であることを踏まえ毎年PTA総会で、会長が実施についての承認を得ること、また、実施にあたっては、個別に希望をとること、さらに、教科書の内容を進めないこと、これらについて通知することともに、校長会等において直接説明し、指導しております。 特に昨年度末及び今年度当初の校長会におきましては、朝課外の目的や内容等についてPTA役員会等で十分に協議した上で、総会等で保護者のみなさんに丁寧に説明するよう指導したところであります。 県教育委員会といたしましては、今後とも課外の任り方も含め、議論を深めるよう校長会等に働きかけてまいります。	高校教育課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 数	答 弁	担 当 課
11	課外指導	現在の朝課外の実施状況について伺いたい。	田口雄二	県民 連合 宮崎	R4	6	本年度、県立高等学校におきまして朝課外を実施しているのは、36校中22校であります。	高校教育課
12	課外指導	朝課外を廃止した学校数とその理由について伺いたい。	田口雄二	県民 連合 宮崎	R4	6	本年度、PTAとの協議により朝課外を廃止した県立高等学校は3校であります。その理由としては、朝課外をなくして、放課後に生徒の主体性をより発揮させるための時間を確保することや、早朝の時間ゆとりをもたせ、教員の働き方を見直す機会とするためと聞いております。なお、新たに生じた放課後の時間につきましては、生徒の適性に合わせた選択制の講座や教科担任への質問、個別学習、部活動や生徒会活動等として活用されているところであります。	高校教育課
13	課外指導	朝課外に対する評価について伺いたい。	田口雄二	県民 連合 宮崎	R4	6	朝課外につきましては、それぞれの学校における生徒の資格取得や進路実現を支援するための取組として、また、経済的な負担軽減を図る取組として、一定の役割を果たしており、保護者のみなさまからの要望もあると認識しております。一方で、学校では教師の働き方改革や生徒の主体的な学びを支援する観点から朝課外の実施を見直す時期ではないかとの議論もあることは承知しております。そのような中で、現在、朝課外の適切な形態につきましても、学校と保護者が課題を共有し、協議が進められているところであり、県教育委員会といたしましても、今後とも議論を深めてまいります。	高校教育課
14	読書・図書	知事は、「日本一の読書県」を提唱されているが、知事の現在の思いを伺いたい。	田口雄二	県民 連合 宮崎	R4	6	読書は、言葉を通じて、感性を磨き、表現力を高めるなど、人生を豊かに生きていく上で、欠くことのできないものであると考えております。「日本一の読書県」を考へて、特にこの数値目標として何かを追い求めたいというものではありませんが、読書が大切であるというメッセージを県民にも伝えたい、そしてその機運を高めていきたい、そのような思いで取り組んでいるところであります。また、4月の定例記者会見で発表した内容であります。本年度、県立図書館が創立120周年を迎えたことから、これを機会に、県民が読書への関心を一層高めていくためにも、県文化賞受賞者の尾崎眞理子さんによる特別講演を開催するなど様々な記念企画に取り組んでいくところであります。本県の県立図書館は、京都市、秋田県に次いで三番目に古いだけ早くから県立図書館があったというのは、県民として誇りに思っている点ではないかと思ひますし、これからは、どこに行っても本に親しめる、大人も子どもも読書をする姿がいたるところで見られると、県民の心の豊かさにつながっていると、そのような「日本一の読書県」を今後とも目指してまいります。	生涯学習課
15	読書・図書	県立図書館の現状と、「読書県みやざき」の取組について伺いたい。	田口雄二	県民 連合 宮崎	R4	6	県立図書館におきましては、コロナ禍の中、感染症対策を施し、可能な限り開館を続けたことで、令和2年度の年間貸出冊数は、全国18位となり、令和3年度は、コロナ禍前の約35万冊に近づく冊数にまで、回復してきたところであります。読書活動を推進する、いわゆる「読書県みやざき」の主な取組につきましては、市町対で読み聞かせなどを担っていただく読書ボランティアを養成する講座の実施や、今年度の「読書県みやざきシンポジウム」におきまして、第2回宮崎本大賞の受賞者による記念トークなどを行うこととしております。県教育委員会といたしましては、他県の好事例も参考にしながら、今後も、生涯にわたって、読書に親しむ「読書県みやざき」を目指していきたいと考えております。	生涯学習課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 別	答 弁	担 当 課
16	新型コロナウイルス感染症対策	学校教育現場におけるマスク着用に係る対応について伺いたい。	山下寿	自由民主党	R4	6	<p>学校では、国のマニュアルに基づき、原則として、身体的距離が十分とれない場合にマスクを着用しております。なお、マニュアルでは、地域の実情に即じた感染対策を取ることとしており、本県では、学校現場でのクラスターの続発など感染拡大期には、部活動でマスク着用を原則とする等の対応を取ってきております。</p> <p>しかしながら、最近の感染状況の改善等も踏まえ、体育の授業や登下校で十分な距離を確保できる場合や、熱中症のおそれがある場合はマスクを外すなど学校現場において臨機応変に対応するよう、5月下旬、県立学校及び市町村教育委員会に周知したところがあります。</p> <p>県教育委員会といたしましては、今後とも、感染状況等に即じた適切なマスク着用を図ってまいります。</p>	教育政策課
17	学校施設・整備	県内の公立学校における耐震化の状況を伺いたい。	山下寿	自由民主党	R4	6	<p>平成7年の阪神淡路大震災以降、公立学校の耐震化に取り組みまして、県立学校につきましては、平成25年度までに、全ての施設の耐震化を完了しております。</p> <p>また、市町村立学校につきましては、耐震化の必要な施設が3棟残っておりますが、昨年度、計画どおり全て建替工事が終了したところであります。</p> <p>このことによりまして、県内の公立学校における耐震化は100%完了しております。</p>	財務福利課
18	西都原古墳群	西都原古墳群の世界文化遺産登録に向けた取組について伺いたい。	濃砂守	自由民主党	R4	6	<p>「西都原古墳群をはじめとする南九州の古墳群」は優れた歴史的景観や墓の形態の独自性など、南九州特有の古墳文化として、国内外から高い評価を受けています。</p> <p>県教育委員会では、古墳群の価値や評語を更に高めるため、コロナ禍におきましても、古墳の調査や、関係自治体との勉強会のほか、県内外での市民向け講座やパネル展示を行うなど、情報発信に取り組みでまいります。</p> <p>こうした中、昨年7月に、高鍋町の持田古墳群が先に認定された西都原古墳群を含む日本遺産に追加認定されましたことは、世界文化遺産登録に向けた取組の成果と考えております。</p> <p>今後とも、日本遺産による地域振興の取組を活かしながら、関係自治体と一体となって世界文化遺産登録に向けた気運醸成に努めてまいります。</p>	文化財課
19	ヤングケアラー	ヤングケアラーに対して、実態把握をした後、学校現場ではどのような対応していくのか伺いたい。	河野哲也	公明党	R4	6	<p>ヤングケアラーに限らず、子どもたちの抱える様々な課題に対しまして、各学校では、日常の観察や面談、家庭訪問、アンケート等も活用しながら、早期発見・対応につなげてきたところであります。その上で、ヤングケアラーに関しては、これまで以上に、教職員の深い理解と高いアンテナをもつことが大切であると考えております。</p> <p>各学校におきましては、県が実施します実態把握の後は、これまで諸課題に即してきた既存の組織をいかし、校内における情報共有や対策の検討を行い、必要に応じて専門スタッフや、地域の関係機関との連携をすすめ、適切な支援のあり方を検討してまいります。</p>	人権同和教育課
20	教科担任制 / 全員担任制	小学校における教科担任制の現状と成果について伺いたい。	河野哲也	公明党	R4	6	<p>本県の現状につきましては、国の方針を踏まえながら、令和2年度から導入し、今年度、県内半数以上の132校の小学校で、教科担任制を実施しております。</p> <p>成果につきましては、既に導入した学校におきまして、今、議員からの御指摘にもありましたが、教員の専門性が生かされ、教科指導の充実が図られております。また、教科ごとに担任が変わるため複数の教員による多面的な児童理解が可能となっております。さらに、学級担任の空き時間の確保も可能となり、学校における働き方改革にも繋がっております。</p> <p>県教育委員会といたしましては、引き続き小学校における教科担任制を推進し、子どもたちの学びの充実を進めてまいります。</p>	義務教育課



令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 期	答 弁	担 当 課
21	STEAM教育	文部科学省の推奨するSTEAM教育について、県の見解を伺いたい。	河野哲也	公明党	R4 6	デジタル技術の急速な進展の中で、社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日におきまして、文系・理系の枠にとらわれず、各教科での学習を社会での問題発見・解決に生かす教科横断的な教育として、STEAM教育が注目されておりま す。現在、各学校種におきまして発達段階に応じて行われている地域課題等の解決を図る探究的な学習や科学技術分野での研究等を改めてSTEAM教育の視点で捉え直すことで、現代の諸課題をより創造的に解決する能力を育むこととなり、本県の将来を担う人材の育成につながるものと考えております。	高校教育課
22	学力	本県の義務教育段階における学力向上の取組について伺いたい。	河野哲也	公明党	R4 6	学校教育の基盤となる義務教育段階における学力向上につきましては、令和の日本型学校教育を踏まえまして主体的・対話的で深い学びを実現し、学びの動機付けや幅広い資質・能力の育成を図っていく必要があると考えております。そのために、昨年度からスタートした「IGASAスクール構想」におきまして、県内に10校のモデル校等を指定し、学力向上のためのICTの効果的な活用について、研究を進めているところであります。また、「みやざき小中学校学力向上支援事業」としまして、学力向上が組織的に推進されるよう管理職への研修を行うとともに、学校訪問におきましては、一人一人の教員に直接授業改善の支援をしているところであります。今後とも市町村教育委員会とより一層の連携を図りながら一体となって義務教育段階の学力向上に取り組んでまいります。	義務教育課
23	部活動	コロナ禍における県立学校の部活動の取扱いについて伺いたい。	佐藤雅洋	自由民主党	R4 6	県立学校の部活動の取扱いにつきましては、国の衛生管理マニュアルに基づき、県の警報区分に応じて、一時的な活動の停止のほか、他校との交流や宿泊等の制限を行いながら、できる限り生徒の活動を保障してきたところであります。現在は、県の警報区分も引き下げられ、日常の活動や大会への参加につきましても通常に近い形で部活動を実施しております。今後、これまでの知見を生かし、引き続き感染症対策の徹底を図りながら、生徒たちが部活動に励むことができるよう、適切に対応してまいります。	スポーツ振興課
24	新聞	県立高等学校等における今年度の新聞の配備状況及び活用状況について伺いたい。	佐藤雅洋	自由民主党	R4 6	五ヶ瀬中等教育学校を含む県立高等学校等におきましては、37校すべてに新聞を置いております。内訳といたしましては、7校が2紙、6校が3紙、のこり24校が4紙以上となっております。活用状況につきましては、各学校では、図書館や共用スペース、学級等に配備し、生徒は、休み時間や放課後に読んでおります。また、授業における複数紙の社説の読み比べや、生徒の探究活動の際の情報収集の素材、連絡指導における時事問題の題材等としても活用しております。自ら学ぶ生徒を育成するためにも、新聞の果たす役割は大きいと私も考えております。	高校教育課
25	いじめ/自殺	いじめアンケートはどのような方法で実施されているのか伺いたい。	山内佳菜子	県民連合会 宮崎	R4 6	いじめアンケートにつきましては、県教育委員会が策定しました「宮崎県いじめ防止基本方針」において、いじめの早期発見のための実施を求めておりまして、各学校では定期的に行われております。具体的な方法といたしましては、記名式、無記名式を交互に実施したり、家庭に持ち帰り、家庭に持ち帰らせながら回答させたりするなど、実施方法や内容を工夫しながら、アンケートを実施しております。また、県といたしましては、毎年1回、県内の小・中・高等学校、特別支援学校など、全ての校種におきまして、無記名のアンケートを実施しておりまして、いじめの早期発見に努めてるところであります。	人権同和教育課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 数	答 弁	担 当 課
26	いじめ/自殺	いじめが起きた後の対応について、県はどのような取組を行っているのか伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	いじめが起きた後の対応につきましては、被害児童生徒に寄り添うことを最優先に、解消に至るまで組織的に対応する事が重要であります。 そのため、県教育委員会では、「いじめの認知から解消までのガイドライン」等を策定しております。そのなかで、校長のリーダーシップを含めた組織的な取組や被害者、加害者、双方への指導・支援の在り方など、解消までの具体的な内容を示し、各学校への指導を行っているところであります。 また、重大ないじめ事案が発生した場合には、県におきまして、弁護士や臨床心理士、警察官等から組織されました「宮崎県いじめ問題対策委員会」を設置し、公平中立な立場から事案の調査を行うこととしております。	人権同和教育課
27	いじめ/自殺	いじめの認知の割合が全国でもトップクラスであることや今後のいじめ問題への取組について知事の見解を伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	本県における、いじめの認知件数の割合が大きいことにつきましては、各学校は、いじめを初期の段階のものから積極的に認知している結果である、その点については、肯定的に捉えているところであり、しかしながら、いじめと認知した件数が多いことは、これは課題でありまして、そこには辛い思いをしている子どもが必ずいると、そこを目指す必要があるかと思えます。 学校におけるいじめの問題への対応につきましては、教育長が答弁しましたように、教育委員会を中心にこれまでも取り組んできております。今後とも、国の動向を注視し、今ご紹介いただきました他県の取組等も視野に入れながら、時代にあわせた対応を促してまいりたいと考えております。 いじめは、学校を含めた社会全体で解決をすべき大きな人権問題であります。そのため、すべての子どもたちをかけたえのない存在であるものとして尊重し、子どもたち一人一人が人としての尊厳を有することを認識をしながら、社会絡ぐるのみで問題に取り組みむことが私たちが大人の責務であると考えております。	人権同和教育課 ★
28	不登校	小中学校における不登校の増加について教育長の見解を伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	不登校につきましては、年々増加傾向にあり、令和2年度の調査におきまして、小・中・高等学校あわせて、1700名以上の児童生徒が不登校の状態にあります。このことは大きな課題であると考え受けております。不登校の要因は様々で、コロナ禍におけるなんらかの影響もあるのではないかと捉えておりますが、これまでの傾向から、今後さらに不登校が増加することも懸念しているところであります。 現在、各学校におきましては、不登校の未然防止、解消に向け、教育相談の充実や関係機関との連携に努めるとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの専門家を活用し、一人一人に合った支援を行っているところであります。 県教育委員会といたしましては、不登校は、どの児童生徒にも起こり得ることとして捉え、その上で、子どもたちの幸せのために、何ができるのか考えてまいります。	人権同和教育課
29	不登校	多様な学びの場の確保に向けた民間団体との連携について、進捗、状況と今後の対応を伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	県教育委員会といたしましては、昨年度から、県内における民間団体やフリースクール等の視察等を行いながら、様々な教育機会の確保に向け、協議を深めているところであります。 私自身も先日、宮崎市内のフリースクールに直接、伺わせていただきました。活動の様子を見させていただき、意見交換を行ってまいりました。 今後は、市町村教育委員会とより一層の連携を図るとともに、各民間団体やフリースクールの実態把握に努め、様々な立場の方々に御意見を頂きながら、今後の支援について検討してまいります。	人権同和教育課
30	オンライン学習	様々な事情により、学校に行きたくても行けない児童生徒の学びを止めないため、オンラインにより行う授業の現状と今後の対応について伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	現在、文部科学省では学びを保障するためのオンライン学習を積極的に進められるよう規則の改正を行い、制度の弾力化を図っております。 県内におきましては、病氣療養等、長期に渡る欠席の児童生徒に対してオンラインによる授業の配信など自分のペースに合わせた学習の支援を実施した例がございます。 県教育委員会といたしましては、学習の評価や単位の認定など今後のオンラインによる学習支援の在り方についてさらに研究を深めてまいります。	高校教育課 義務教育課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 間	答 弁	担 当 課
31	特別支援	発達障がいのある児童生徒の保護者の声を教育委員会の施策に生かす仕組みがあるか伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	障がいのある児童生徒の保護者からの御意見につきましては、県内を7つに分けたエリアサポート体制の中で、特別に配置した経験豊富な専門性の高い教員による学校への巡回相談や、福祉等関係機関との連携会議において把握させていただき、施策を実施する際の参考としております。 特に、発達障がいのある児童生徒に関する早期の相談支援が重要であると考えております。 このことから、県教育委員会としては、より本人、保護者の声に耳を傾け、施策の充実に向けてまいります。	特別支援教育課
32	特別支援	県立高校における特別な教育的ニーズのある生徒に対しての受入れの配慮と入学後の支援の状況について伺いたい。	山内佳菜子	県民 連合 宮崎	R4	6	特別な配慮を必要とする生徒が県立高校を受入れる際は、中学校からの申し出をもとに高校と県教育委員会が協議した上で、本人の状況に応じて、別室での受検や学力検査問題のルビ振り、用紙の拡大などの必要とされる対応を行っております。 入学後に引き続きも、各高校で生活面や学習面、対人関係に困難さを抱える生徒の情報を職員間で共有し、一人一人に合わせた支援に努めております。 さらに、現在、7エリアに設置した15校の拠点校を中心に困難さの改善、環境への適応を目指した「通級による指導」も行ってまいります。 県教育委員会としては、今後とも個別の教育的ニーズに応じた支援についてより一層、充実を図ってまいります。	高校教育課 特別支援教育課
33	部活動	運動部活動の地域移行に関する検討会議提言の概要や今後のスケジュールについて伺いたい。	太田清海	県民 連合 宮崎	R4	6	国では、深刻な少子化や教員の業務負担の増加等の課題を受け、公立中学校における運動部活動の地域移行に向け有識者による検討会議が開催され、今年6月にその提言がまとめられました。 その概要としては、指導者の確保や会費負担の在り方、保険の在り方など、具体的課題への対応が示されたところであります。また、大会の在り方等につきましても、日本中体連が主催する全国大会に地域のスポーツ団体等も参加できるようにすることなどが盛り込まれております。 今後の計画としましては、まずは休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、令和5年度から3年間を改革集中期間とすることが併せて示されております。	スポーツ振興課
34	部活動	部活動は教育の一環として教員が担うべきではないかと考えるが、教育長の見解を伺いたい。	太田清海	県民 連合 宮崎	R4	6	部活動は、学年や学校を越えた交流を通して、生徒同士の幅広く豊かな人間関係の構築や、目標達成に向け、努力する過程で壁にぶつかることがあり、そこを乗り越える経験ができる、そのような活動であります。また、教室とは異なる生徒の姿があり、教員にとっても、生徒理解を深めることができる活動でもあります。私自身も、学校現場では、まさしくこのような教育的な意義や価値を実感してまいります。 しかしながら、教員の業務量の増加や心理的負担といった、課題があることも認識しております。 そのようなことから、今後は、全ての市町村教育委員会に足を運び、現状や課題等の御意見を集約しながら、本県の実情に合った部活動について検討していく必要があると考えております。	スポーツ振興課
35	部活動	部活動指導員の配置による効果と今後の見直しについて伺いたい。	太田清海	県民 連合 宮崎	R4	6	公立中学校における部活動指導員につきましては、主に教員の負担軽減等を目的に令和元年度より配置しており、今年度は77名を配置することとしております。 その効果といたしましては、教員の時間外の業務時間の減少をはじめ、「これまで経験のない競技を担当した顧問の心理的負担が軽減された」、「仕事と家庭生活の両立が図られた」などの報告がなされております。 今後は、国の動向を注視するとともに、各市町村教育委員会とも連携し、継続的に部活動指導員の配置を進めてまいります。	スポーツ振興課

NO	キーワード	問 い	議員名	所 属	年 度	期 別	答 弁	担 当 課
36	教員免許更新	教員免許更新制の廃止に伴う新たな研修制度の概要について伺いたい。	太田清海	県民 連合 宮崎	R4	6	国の示した新たな研修制度は、変化の激しい教育環境の中において、一人一人の教員が目標を設定した上で、主体的に学習することをねらいとしております。 県教育委員会としては、その本制度のねらいを踏まえ、その新たな研修計画を策定しその研修の履歴を記録に残す仕組みを構築してまいります。 また、校長はその研修記録等を活用しながら、教員との対話をとおして、今後の研修の方向性を示し一人一人の教員にとっても適な学びとなるよう指導助言等を行います。 本制度の詳細につきましては、今後、文部科学省よりガイドラインが示されますので、その内容を踏まえて計画的に進めてまいります。	教職員課
37	教員免許更新	県教育委員会として、新たな研修制度を今後どのように構築していくのか伺いたい。	太田清海	県民 連合 宮崎	R4	6	県教育委員会といたしましては、今後、文部科学省より示されます指針やガイドライン等を参考にしながら、本県ならではの研修制度の構築に取り組んでまいります。 具体的には、有識者交えた教員の育成や研修に関する会議を実施するとともに、庁内のワーキング・グループにおきまして協議を重ねてまいります。 それらとおして、研修制度の基盤となる教員の「育成指標」を定めた上で、今年度末を目処に新たな研修計画を策定してまいります。 なお、構築にあたりましては、働き方改革を念頭に置いて、教員の過度な負担にならないよう配慮するとともに、学校現場や社会のニーズも踏まえながら作業を進めてまいります。	教職員課
38	神楽	神楽の保存・継承のために、県が行っている取組と今後の方策について伺いたい。	安田厚生	自由 民主 党	R4	6	県内には、200を超えて神楽が大切に受け継がれております。しかしながら高齢化や過疎化により、保存・継承が難しい状況になってきておりまして、このことは本県だけでなく、全国各地域においても同様の状況であります。 そのため本県が中心となり、神楽の保存・継承を目的とした国指定神楽保存団体による全国組織を今年度中に設立し、一日も早いユネスコ無形文化遺産登録をめざしてまいります。 また、県内におきましては、これまで神楽の調査研究や、映像記録の保存・公開などに取り組んでまいりました。加えて今年度は新たに、神楽保存団体の連絡協議会を開催し情報の共有や連携の強化を図ることで、神楽の保存・継承をより一層推進してまいります。	文化財課
39	働き方改革	教員の時間外業務時間について、どのくらい改善が図られたのか伺いたい。	安田厚生	自由 民主 党	R4	6	教員の時間外業務時間につきましては毎年10月に、全校種別別の調査を実施しております。 それによりまして、月当たり45時間を超えている教諭等の割合について、令和3年度と前年度を比較してみますと、小学校は、5.6ポイント減少して20.8%、中学校は、2.8ポイント減少して55.3%、高等学校は、5.4ポイント減少して53.2%、特別支援学校は、0.8ポイント減少して16.3%という結果でありました。 県教育委員会としては、今後ともスクール・サポート・スタッフの拡充や、総合型校務支援システムの活用、全県立学校でのフレックスタイム制度の試行など、時間外業務削減の取組をより一層、推進してまいります。	教職員課
40	GIGAスクール構想	GIGAスクール構想の現状と課題について伺いたい。	安田厚生	自由 民主 党	R4	6	GIGAスクール構想の現状としては、義務教育段階では、県内全ての学校で1人1台端末での学習が昨年度から本格的にスタートし、県立高校におきましても、今年度入学生から順次導入しております。 そのようなか中、課題として、まずはICTを活用した教員の指導力向上、次に一斉にネットワークを活用した際のICT機器の安定した運用と考えるところであります。 そこで、教員の指導力向上のために、県立学校のICT教育推進リーダーや市町村立学校の担当者を対象とした研修会を実施するとともに、モデル校等を指定してICTを効果的に活用した授業の研究とその普及に取り組んでいるところであります。 また、ICT機器の安定した運用につきましては、トラブル時のサポートの強化、ネットワークの点検・増強等につきましても今議会の補正予算でお願いしているところであります。	教育政策課

令和4年6月定例会 答弁一覧

★…知事答弁、◆…副知事答弁

NO	キーワード	問 い	議 員 名	所 属	年 期	答 弁	担 当 課	
41	GIGAスクール構想	1人1台端末を活用して子どもたちが悩みを相談できる仕組みをつくることは出来ないか伺いたい。	安田厚生	自由民主党	R4	6	<p>県教育委員会では、子どもたちがいじめや悩みを相談する窓口として電話による「24時間子供SOSダイヤル」や「ふれあいコール」があるほか、インターネット上に「ネットいじめ目安箱サイト」を開設しておりまして、誰でも悩みを相談できる体制を整えております。</p> <p>その「ネットいじめ目安箱サイト」につきましては、SNS等での不適切な投稿の内容をより画像で投稿できる機能を追加するなど、手軽に相談できるようになっています。</p> <p>議員ご指摘のとおり、子どもたちが安心して悩みを相談する上で、1人1台端末の活用は非常に有効だと考えておりますので、その仕組みづくりを検討してまいります。</p>	教育政策課
42	教員確保	県外からの教員確保の取組状況について伺いたい。	安田厚生	自由民主党	R4	6	<p>県外からの教員確保に向けた取組といたしましては、従来から行っておりまして県外の大学訪問等に加えまして、平成30年度からは、県外での教員志願者説明会を実施しており、昨年度は56名の参加がありました。</p> <p>また、令和2年度から県外2箇所での採用試験を実施しておりまして、本年度は、東京、大阪、福岡の3箇所に増やす予定であります。</p> <p>さらに、他県の現職教員や元教員を対象とした特別選考試験を、平成28年度から実施しておりまして、昨年度は51名が応募し、27名を採用しております。</p> <p>今後とも、これまでの取組のさらなる充実を図りながら、優秀な人材確保を進めてまいります。</p>	教職員課